



自然環境と調和のとれた砂防事業の推進を目指して

～「飯豊山系砂防事務所アドバイザー会議」を開催しました。～

飯豊山系砂防事務所では、砂防事業を実施するにあたり、「飯豊山系の豊かな自然環境を大切にし、調和のとれた砂防事業を推進する」を一つの使命として事業を行っています。

この度、地元に関わる環境などの学識者等からなるアドバイザーの方々にお集まり頂き、「飯豊山系砂防事務所アドバイザー会議」を開催し、砂防事業の調査・計画立案、工事中及び工事完了後の各段階における自然環境等への配慮事項等について指導・助言を頂きました。

当事務所では、今回頂いた意見を今後の事業に反映し、引き続き、自然環境に調和した砂防事業を推進していきます。

1. 開催概要

日時: 8月27日 13:30～15:30

場所: 関川村村民会館大会議室

内容: ①平成24年度事業概要について

②平成23年度調査結果及び平成24年度調査内容・結果速報について

③環境配慮の取組について

④意見交換

2. アドバイザー

遠藤 正浩 氏(胎内昆虫の家)

小田 辰兵衛 氏(元胎内フラワーパーク栽培指導員)

権田 豊 氏(新潟大学農学部准教授)

本間 隆平 氏(新潟県野鳥愛護会顧問)

箕口 秀夫 氏(新潟大学農学部教授)

※五十音順

【確認されている重要種の一例】

トウホクサンショウウオ

【環境省・新潟県・山形県・準絶滅危惧】



3. 頂いた主な意見

- ・重要種が確認されて箇所については工事中・工事後の調査を行っていく必要がある。
- ・移植作業を行ったものについてはモニタリング調査を行い、移植結果の確認する必要がある。
- ・工事関係者に対しても、自然環境保全に関する啓発活動を行う必要がある。
- ・継続して自然環境に配慮した取り組みが行われていることに敬意を表する。引き続き、自然環境の保全に努めて頂きたい。



アドバイザー会議の様子